



First Friends Family Set

身近な家族を表すフィギュアを使ったごっこ遊びです。家族の関係を言葉で表したり、日常生活の習慣を探ったり、気持ちについて話したりすることを通して、自己理解や社会性、情緒面の発達を支えます。

内容

フィギュア5体、ベビーベッド1台

対象市場

家庭・教育の両方

セットの内容



First Friends Mother



First Friends Father



First Friends Grandmother



First Friends Grandfather



First Friends Baby with Crib
9.5 × 8.5 × 12 cm

子どもが学ぶこと



社会的な関係の理解

家族の中で誰が誰か、誰が誰のお世話をするか、それぞれが一日に何をするか。



言葉

家族を表す言葉、名前、「わたしの」「あなたの」、そしてごっこ遊びで交わす初歩的な言葉のやり取り。



感情リテラシー

眠い、おなかがすいた、うれしい、怒った。フィギュアに与えた気持ちは、自分の気持ちより言葉にしやすいものです。



順序立て

起きる、朝ごはん、お出かけ、帰宅、お風呂、おやすみ。一日には順序があり、お話にも順序があります。



手先の器用さ

腕と足をカチッと動かして、座る、立つ、手を振る姿にします。赤ちゃんをベッドに入れたり、出したりします。



はじめての数

何人いる？ いすはいくつ？ 大きい・小さい、年上・年下。

テーマ

わたしの家族

家庭での暮らし

世代

気持ち

毎日の日課

個人としての成長と社会性の発達



Learning through play

■ ひとつのセットで5年間遊べる



■ セットの4つの使い方

ひとりで発見する：12か月以上
フィギュア1体とベビーベッドの赤ちゃん。ピーという音を見つけ、腕を曲げ、赤ちゃんを寝かせます。

大人と2人で遊ぶ：18か月以上
家族の名前を言い、日課を1つ演じます。大人が1体、子どもが別の1体の声を担当します。

少人数グループ：3～5歳
フィギュアを1人1体ずつ使って、おうちの一日。輪になって、気持ちと家族について話します。

常設の遊びコーナー
First Friendsのおうちと家具を置いたままごとコーナーで、1学期間使えます。

■ 保育の現場で

フィギュアは12.5 cm。小さな部品なし、歯固めにも安心

拭いてきれいにできます。かぜのあとはフィギュアを洗えます

フィギュア5体とベビーベッドが、浅いトレイ1つに収まります

どのフィギュアも1体ずつ購入できます。セットではなく1体だけ交換できます

■ 観察のポイント

☐ フィギュアの名前を言い、おうちの誰かと結びつけられますか？

☐ 日課を順番どおりに演じられますか？

☐ いす1つとフィギュア1体を合わせていますか？ それとも数えて確かめていますか？

☐ フィギュアに声と気持ちを与えていますか？

☐ 「はじめに」「次に」「最後に」を使っていますか？

☐ ほかに子の家族の話を聞いて、質問できますか？

■ 学びの領域

身体の発達

コミュニケーションと言葉

人間関係と心の発達

身近な世界の理解

数学

表現活動

■ セットを広げる

家族におうちとペットを。First Friendsのおうちは、Play House Setと同じものなので、2つのセットで1つの世界ができます。

First Friends House

First Friends Puppy

First Friends Kitten

First Friends Girl



1 赤ちゃんをベッドへ、ベッドから

12〜24か月
子ども1人+大人

用意するもの

赤ちゃんとおベビーベッド。

進め方

1. 赤ちゃんを見せます。ベッドに寝かせます。「ねんね」と言って、寝たふりをします。
2. 起きる時間です。「おはよう！」赤ちゃんを抱き上げて、子どもに渡します。
3. 子どもに赤ちゃんを寝かせてもらいます。待ちます。必要なときだけ手伝います。
4. 毎回言葉を添えてくり返します。ブランケット代わりの布や、音を加えます。

学びのねらい

手先の器用さ

入れる・出す

日課

はじめての言葉

やさしく — はじめの数回は、手を重ねて一緒に動かします。

難しく — 寝る前に「赤ちゃんは眠いかな？」、起きたあとに「赤ちゃんはおなかすいたかな？」と尋ねます。

注目ポイント

動作と一緒に、言葉を言ったり手話で示したりしていますか？日課と言葉を結びつけることは、言葉を伴うごっこ遊びのはじまりです。

2 これはだあれ？

18か月〜3歳
子ども1〜2人+大人

用意するもの

フィギュア5体すべて。

進め方

1. フィギュアを1列に立たせます。ひとりずつ指さして名前を言います。「これはお母さん」。
2. 「おじいちゃんはどこ？」と尋ね、子どもに指さしたり選んだりしてもらいます。
3. 「家族には誰がいる？」と尋ね、子どもが名前を挙げた人ごとにフィギュアを立てます。
4. 大きさ順に並べます。赤ちゃん、子ども、大人の順です。

学びのねらい

名前を言う

家族

マッチング

大きさの順序

やさしく — フィギュアは3体にします（お母さん、お父さん、赤ちゃん）。

難しく — それぞれの人が何をするか尋ねます。「おばあちゃんとは、どんなことをして遊ぶの？」

注目ポイント

家族は一つひとつ違います。セットではなく、子ども自身の家族に寄り添いましょう。フィギュアは、子どもが挙げる誰かの代わりに立つものです。

3 おうちの一日

2〜4歳
子ども1〜3人+大人

用意するもの

フィギュア5体とおベビーベッド。あればFirst Friendsのおうちと家具。

進め方

1. みんなが眠っているところからはじめます。「朝だよ。最初に起きるのは誰かな？」
2. 一日の場面を、それぞれ短く演じます。朝ごはん、お出かけ、帰宅。
3. 最後はお風呂とおやすみ。赤ちゃんは最後にベッドへ。
4. 「はじめに何が起きた？次は何だった？」と尋ねます。

学びのねらい

順序立て

日課

ごっこ遊び

時を表す言葉

やさしく — 3つの場面だけにします。起きる、食べる、寝る。

難しく — 子ども一人ひとりに1体のフィギュアを渡し、一日じゅう声を担当してもらいます。

注目ポイント

一日の順番を覚えていられますか？促されずに「はじめに」「次に」「最後に」を使えれば、順序が身についた証拠です。



4 おじいちゃんはどうな気持ち？

3〜5歳
子ども2〜4人+大人

用意するもの

フィギュア5体すべて。

進め方

1. フィギュアを1体、ポーズをとらせませす（うなだれて座る、腕を上げる、横になる）。「おじいちゃんはどうな気持ちかな？」と尋ねます。
2. どんな答えも受け止めます。「何があったの？」と尋ね、理由を子どもにつくってもらいます。
3. 「家族はどうしたら助けられるかな？」と尋ね、ほかのフィギュアで子どもに演じてもらいます。
4. 順番に、新しいフィギュアと新しい気持ちでポーズをとります。

学びのねらい

気持ち 思いやり お話づくり 語彙

やさしく — うれしいか悲しいかだけにして、気持ちの名前は大人が先に言います。

難しく — 違う気持ちの2体を同時に出します。お互いに何と言うかな？

注目ポイント

「うれしい」「悲しい」以外の気持ちの言葉と、理由に耳を傾けましょう。何が助けになるかを提案できる子は、相手の視点に立っています。

5 みんなのいす

3〜5歳
子ども1〜3人+大人

用意するもの

フィギュア5体。いす代わりの小さな積み木またはカップ5つと、予備を少し。

進め方

1. 家族を夕食のテーブルにつかせます。「みんな、いすはある？」 フィギュアを数え、次にいすを数えます。
2. いすを1つ片づけます。「さあ、どうなる？」 もう一度数えます。いすがないのは誰？
3. カップを足します。1人に1つずつ。足りない場合、多すぎる場合も試して、比べます。
4. 赤ちゃんには小さい必要があります。いちばん小さい積み木はどれ？

学びのねらい

数える 1対1対応 多い・少ない 大きさ

やさしく — フィギュア3体、いす3つ。数えずに、1対1で合わせます。

難しく — 5人分を用意し、そこへお客さんが来ます。いまは何人？

注目ポイント

数えずにいす1つとフィギュア1体を合わせるのが1対1対応で、数えて確かめるのが次の段階です。子どもがどちらを使っているか記録しましょう。

6 お子様の家族について教えてください

3〜5歳
子ども2〜4人+大人

用意するもの

フィギュア5体すべて。輪になった子どもたち。

進め方

1. フィギュアを回します。子どもが、おうちの誰かに似ている1体を選びます。
2. 順番に話します。「これはわたしのおばあちゃん。パンケーキをつくってくれるよ」。1文で十分です。
3. グループが1人1つずつ質問します。「近くに住んでいるの？」
4. 最後に選んだフィギュアを全部並べます。「わたしたちみんなの家族」。

学びのねらい

話す 聞く力 家族 自信

やさしく — 大人が先に、1文でお手本を見せます。

難しく — 子どもに2文で言い直してもらるか、その人がどうやって世話をしてくれるかを話してもらいます。

注目ポイント

子どもが文としてまとまった形で話しているか、子ども同士で質問し合っているかに耳を傾けましょう。この活動から家庭での生活の様子を知ることが出来ます。さらに確認や対応が必要なことがあれば、記録しておきます。

